

令和7年度食糧援助（WFP連携）引渡式

2月3日、令和7年度食糧援助（WFP連携）により調達したメイズ、豆類、食用油等を、横谷次席からミッドランド州ムベレングワ郡で食料不足に陥っている脆弱な地域住民に引き渡しました。

ジンバブエでは気候変動の影響により、干ばつ、洪水、害虫などの深刻な被害が頻繁に発生しています。ジンバブエは国連食糧農業機関（FAO）作成の飢餓マップにおいて、全人口に占める栄養不足人口の割合が19.7%（2022（令和4）年から2024（令和6）年の平均）に達しており、6段階中3番目に深刻なレベルに位置付けられ、食料・栄養の支援に対する緊急ニーズが高い状況にあります。

この支援により、83,000人以上の人々が収穫端境期の食料不安を克服できます。

食糧引渡式は、ムベレングワ郡第4区のWFP食料配布拠点（ヴォムコンデ中等学校）で行われ、横谷次席、ムウェインガWFPジンバブエ副代表、ティリバビ公共サービス・労働・社会福祉省社会開発担当課長、フラバティ・ムベレングワ郡開発コーディネーターのほか、食糧の受け取りに集まった同区の住民約300名が参加しました。



引渡しを待つ食糧



横谷次席の挨拶



横谷次席から住民へ食糧を引渡し



乳幼児の栄養状態の確認



各住民への食糧の分配